

介護保険事業支援計画に記載した、市町村が行う自立支援、介護予防又は重度化防止及び介護給付の適正化に関する取組の支援についての目標（令和元年度）に対する自己評価結果

都道府県名： 石川県

ア 取組の支援についての自己評価結果	
項目名	
自立支援に向けた地域ケア会議の推進	
目標を設定するに至った現状と課題	
<p>要支援者等、介護の必要性が軽度の高齢者は、掃除や買い物などの生活行為の一部が難しくなっているものの、生活の仕方や道具を工夫することで、生活が改善することが期待できるので、アセスメント及び自立支援に資するケアマネジメントが重要になる。また多職種の見点から個別事例の検討を行う地域ケア個別会議を活用し、地域の課題を発見し、不足する地域資源の創出を図ることが重要である。</p> <p>県内保険者の地域ケア会議実施に関しては、17 保険者/19 保険者が実施しているが、地域課題の把握や地域づくり、政策形成につながるよう質の向上が必要である。</p>	
取組の実施内容、実績	
<p>(取組内容)</p> <p>・介護予防事業担当者研修 (R1. 11. 25)</p> <p>前半は利用者の状態把握、課題分析のために用いる課題整理総括表を活用するための実践講座を行い、後半は総括表を用いて多職種による模擬地域包括ケア個別会議を行った。</p> <p>(実績) 自立支援に向けた地域ケア会議実施市町数 R1 年度 17 市町</p>	
自己評価	
県の計画に記載してある R 7 年までに県内全市町 (19 市町) で実施という目標に関しては、達成可能と見込まれる。	

イ 管内保険者の自己評価結果の概要	
計画に地域ケア個別会議の実施回数を目標に掲げている保険者の多くは、数値目標を順調に達成している。また昨年度の自己評価結果において、会議の回数は増えているものの、地域課題の把握ができていないという保険者が複数見られたが、今回は多職種による個別会議での検討が進んだことで地域課題の解決につながったとするなどの保険者があった。	

ウ まとめ (ア及びイから考察した現状・課題と対応策)	
<p>地域ケア会議未実施の保険者に対しては、県が研修等を通じて引き続き実施を促していく。</p> <p>また個人レベルでの課題把握のための地域ケア個別会議は進んでいるが、日常生活圏域→市町全体での地域課題の把握までしている保険者は少ないため、県が引き続き模擬地域ケア会議等を支援を行っていく必要がある。</p>	